

国の教育方針
「生きる力」の育成

静岡県の教育方針
「有徳の人」の育成

伊豆市学校教育目標
「ふるさと伊豆に誇りをもち 夢やこころざしを持って 心豊かに生きる子の育成」

学校教育目標 **かなえよう夢 みんなの力で**

～ふるさと土肥に誇りをもち 未来を切り拓く子どもの育成～
「知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を旨として」

目指す学校像

- ・学力を保证する学校
- ・頼れる先生がいる学校
- ・「不易と流行」を見極め、子どもが主体の教育を推進する学校
- ・内・外両方に開かれ、地域とともにある学校

目指す子ども像

- ・確かな学力を、身に付けている子ども
- ・他人の良さや違いを認め、自分を高めていこうとする子ども
- ・自己の健康管理ができる子ども
- ・ふるさと土肥が好きだといえる子ども
- ・自分の思いを言葉や文字に込めて伝えようとする子ども

目指す教師像

- ・高い倫理観を持ち、自己研鑽に励んでいる教師
- ・確かな専門性と授業力を持っている教師
- ・子どもと正面を向いて会話し情熱を注いで関わる教師
- ・使命感、責任感を持って仕事に取り組んでいる教師
- ・協働し、新しいことに積極的に挑戦している教師
- ・ワークライフバランスを意識し、実践できる教師

【児童生徒の実態】

- 落ち着いた学校生活を送る。
- 学校生活が楽しい。
- 何事にも一生懸命取り組む。
- ▲自分の考えや思いを伝える。
- ▲物事に主体的に取り組む。

【保護者、地域の願い】

- ・土肥のよさを知り愛する。
- ・仲間を思いやり大切にする。
- ・最後まであきらめずやり抜く。
- ・何事にも積極的に挑戦する。
- ・学習の努力を成果に結びつける。

【伊豆市型コミュニティ・スクール】

- ・コミュニティスクール推進委員会
- 地区連合区長、PTA代表
- 地域づくり協議会代表等
- ・コーディネーター
- ・学校支援地域本部

知

徳

体

郷土愛

表現力

確かな学力の定着

自己肯定感・自己有用感の醸成

心身とも健やかな子どもの育成

郷土愛の育成

豊かな表現力の育成

- ◎家庭学習習慣の定着と自主学習の充実
- ◎授業力向上を目指した校内研修の充実
- ◎教科担任による5・6年生の英語授業
- ◎ICT機器の活用

- ◎互いを認め合う集団
- ◎達成感を味わえる活動や行事の設定
- ◎縦割り・異学年交流
- ◎4-3-2年制を生かした行事の立案と実施
- ◎ピア・サポート活動

- ◎体を動かす習慣の定着
- ◎朝運動、放課後運動の継続
- ◎運動施設の有効活用
- ◎児童生徒情報の共有
- ◎基本的生活習慣の確立と定着

- ◎土肥のよさを知る「ふるさと学習」の推進
- ◎土肥だからできる「ふるさと学習」の実践
- ◎地域の教育力を生かす
- ◎地域社会の形成者である自覚と役割意識

- ◎スピーチ集会の開催
- ◎行事等における表現の場の設定
- ◎1年生からの外国語活動の導入
- ◎ICT機器を活用した多様な表現

ステージ制をいかした教育活動の推進

各ステージにおけるPDCAサイクルの確立

出会い
4～5月

挑戦
チャレンジ
6～7月

団結
力を合わせて
8～10月

充実
みのり
11～12月

感謝
ありがとう
1～3月

学校評価の活用

生徒・保護者・教職員へのアンケート実施、学校関係者評価委員会、学力・学習状況調査、Q-U調査、アセス等

数値目標 授業が分かる94% 自己肯定感85% 体力づくり93% 土肥について新発見90% 場に応じた話し方90%
自主学習93% 学校が楽しい87% 早寝早起き朝ごはん87% 避難場所を知っている100% 自分の考え80%

学校経営の重点 義務教育9年間を通して子どもを育てる<4-3-2制の機能化>

区切り	前期課程				後期課程				
	初等部			中等部	中等部			高等部	
学年	1年(小1)	2年(小2)	3年(小3)	4年(小4)	5年(小5)	6年(小6)	7年(中1)	8年(中2)	9年(中3)
学びの段階	【学びの基礎充実期】 ・集団生活への適応 ・学びの約束を理解し、学び方を知る ・学びの習慣化、読書				【学びの展開期】 ・学びの習慣化、読書 ・自主学習への取組 ・自分なりの目標をもつ			【学びの発展期】 ・自主学習の深化 ・進路選択に向けた目標ある生活	